

令和2年度 事業報告

我が国は、少子高齢化の急速な進展や、人口も減少過程に入っていることから、労働力人口の減少が大いに懸念されていますが、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対して、国や地域社会の期待は一層大きくなっています。

一方、国は、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部を改正（令和3年4月1日施行）し、70歳までの就業機会の確保を企業の努力義務とされました。このことは今後のシルバーの事業運営にも大きな影響があるものと思われます。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大という事態に翻弄された1年で、当センターの事業運営にも大きな影響がありました。

定時総会や各種会議・会合等は中止もしくは規模を縮小しての開催を余儀なくされ、特に、普及啓発事業としての「チャリティーバザー」や「会員交流会」も中止せざるを得ず、残念な結果となりました。

さらに、入会説明会や企業・事業所等への訪問活動等も様々な制約を受け、新規会員の獲得や新たな就業機会の確保などにも、大きな影響を受けた1年がありました。

コロナに関しては、ワクチンの接種が進められ、1日も早い鎮静化を期待するところですが、コロナに限らず、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、当面は厳しい状況が続くことが懸念されるところです。

このような状況の中、当センターの事業実績は、その大宗をなす請負・委任事業については大きく落ち込み、対前年度比で3.6%、1,357万円減の3億6,247万円となりました。

また、派遣事業については、年度前半は順調に伸びてきましたが、後半になって減速し、最終的には対前年度比2.0%、47万円の微増で、2,468万円となりました。

この結果、請負・委任・派遣事業の合計では、コロナの影響が大きく、契約額は3億8,715万円（前年度：4億24万円）となり、対前年度比では2.3%、1,309万円の大幅な減となりました。

しかし、皆様方のご理解・ご協力及び効率的な予算執行に努めた結果、今年度も369万円の黒字を計上することができました。

なお、新年度は、市・国の補助金が大幅な減額となることから、非常に厳しい事業運営を強いられることになりますが、事業実績の挽回を図るとともに、就労

やボランティア等を通じて地域社会への貢献を果たし、シルバーの存在意義を高めていくため、なお一層の努力が必要であると考えます。

また、会員数についても、長崎県シルバー人材センター連合会が実施する「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携して、周知・広報活動、就業体験、技能講習等に積極的に取り組み、新規会員の確保に努めてまいりましたが、入会説明会の開催の制約やコロナ禍による自粛ムード等もあり、入会者より退会者が大幅に上回り、前年度末より40名減の907名という厳しい結果となりました。

今後も、健全経営の下、シルバー事業を推進してまいりますので、会員、そして役職員皆様のご理解とご協力をお願いします。

年度 項目	①令和元年度	②令和2年度	②-① 前年度比
会員数（人）	947	907	△40
受注延件数（件）	6,172	5,654	△518
契約金額（円）	376,034,100	362,466,202	△13,567,898
就業実人員（人）	743	716	△27
就業延人員（人日）	73,416	69,322	△4,094
就業率（%）	78.5	78.9	0.4
単年度収支（円）	9,608,747	3,685,131	△5,923,616

※ 「受注延件数」から「就業率」までの各項目は、請負・委任について記載